

重販最終処分場拡張事業 環境保全措置の実施状況の報告（第1回【平成30年2月15日】） 期間：平成29年11月15日～平成30年2月14日

環境要素		影響要因	実施内容	実施/未実施	備考	評価書記載頁
大気質	二酸化窒素	最終処分場の設置の工事	建設機械は、大気汚染物質排出量が少ない排出ガス対策型機械の採用に努める。	実施	排出ガス対策型機械を使用した。	158
			建設機械のアイドリングストップを励行するとともに、十分な点検、整備を行い、性能の維持に努める。	実施	新規入場時教育の際、重機や通勤車両等のアイドリングストップを徹底するよう指導し、現場巡視によって実施状況を確認した。	158
			工事工程の管理を行い、建設機械が過密に稼働することのないよう努める。	未実施	輻輳する工種が少なく、重機の過密配置となるような状況でなかった。	158
			工事関係車両の運転者には、制限速度を順守させ、無駄な空ふかしやアイドリングを行わないように指導を徹底する。	実施	新規入場時教育の際、通勤車両等のアイドリングストップおよび制限速度の遵守を徹底するよう指導した。また資材納入業者にもその旨を通知し、現場巡視によって実施状況を確認した。	173
			工事関係車両は、十分に整備・点検を行うことにより、常に良好な状態で使用し、環境への負荷を軽減する。	実施	工事で使用する重機や車両は、現場受け入れ時に検査簿を提出させた。また、日常点検を実施するよう指導し、点検簿を適宜確認することで実施状況を把握した。	173
			工事車両の主要走行ルートは、沿道に人家等の立地が少ない、対象事業実施区域南側の工業地域内を通行するルートとする。	実施	国道24号線から工業地域内を通る運行ルートを選定し、関係車両に周知した	173
			車両が集中することが無いように、適切に運行管理を行う。	未実施	輻輳する工種が少なく、重機の過密配置となるような状況でなかった。	173
	浮遊粒子状物質		二酸化窒素対策と同様の内容を実施する。	実施	左記のとおり実施した。	158
	粉じん等		造成工事区域及び埋立区域等に適宜散水を行う。	未実施	造成工事は未実施	164
			強風時に粉じんの飛散が著しく、住宅等に影響が考えられる場合は作業を中断する。	実施	現場内に吹流しを設けて風の状況を確認しているが、作業を中止するような状況は発生しなかった。	164
住宅に近接する東側敷地境界に遮音壁(h=3m)を設置する。		実施	東側住宅地に対して設置した。（遮音壁とされているが、粉じんの飛散も抑制されるものである）	164		

重慶最終処分場拡張事業 環境保全措置の実施状況の報告（第1回【平成30年2月15日】） 期間：平成29年11月15日～平成30年2月14日

環境要素		影響要因	実施内容	実施/未実施	備考	評価書記載頁
大気質	粉じん等	最終処分場の設置の工事	工事工程の管理を行い、建設機械が過密に稼働することのないよう努める。	未実施	輻輳する工種が少なく、重機の過密配置となるような状況でなかった。	164
			工事関連車両は、施設からの退出の際にタイヤ及び車体下回りの洗浄を行う。	実施	退場時に洗車設備にて車体及び車両を洗浄した。	176
			天蓋の無い車両は荷台にシートを掛ける。	実施	左記のとおり実施した。	176
			工事関連車両の主要走行ルートは、沿道に人家等の立地が少ない、対象事業実施区域南側の工業地域内を通行する。	実施	国道24号線から工業地域内を通る運行ルートを選定し、関係車両に周知した。	176
			車両が集中することの無いように、適切に運行管理を行う。	未実施	輻輳する工種が少なく、重機の過密配置となるような状況でなかった。	176
騒音	騒音	最終処分場の設置の工事	東側敷地境界に遮音壁(h=3)を設置する。	実施	左記のとおり実施した。	191
			建設機械は、低騒音型建設機械の採用に努める。	実施	騒音対策型建設機械を導入した。	191
			建設機械のアイドリングストップを励行するとともに、十分な点検、整備を行い、性能の維持に努める。	実施	新規入場時教育の際、重機や通勤車両等のアイドリングストップを徹底するよう指導し、現場巡視によって実施状況を確認した。	191
			建設機械の稼働時間帯は昼間の8時～17時とし、夜間の環境への負荷を軽減する。	実施	建設機械の稼働時間を8:00～17:00とし、順守状況は現場巡視にて確認した。	191
			工事工程の管理を行い、建設機械が過密に稼働することのないよう努める。	未実施	輻輳する工種が少なく、重機の過密配置となるような状況でなかった。	191
			工事関係車両の運転者には、制限速度を遵守させ、無駄な空ふかしやアイドリングを行わないように指導を徹底する。	実施	新規入場時教育の際、通勤車両等のアイドリングストップおよび制限速度の遵守を徹底するよう指導した。また資材納入業者にもその旨を通知し、現場巡視によって実施状況を確認した。	197

重慶最終処分場拡張事業 環境保全措置の実施状況の報告（第1回【平成30年2月15日】） 期間：平成29年11月15日～平成30年2月14日

環境要素		影響要因	実施内容	実施／未実施	備考	評価書記載頁
騒音	騒音	最終処分場の設置の工事	工事関係車両は、十分に整備・点検を行うことにより、常に良好な状態で使用し、環境への負荷を軽減する。	実施	工事で使用する重機や車両は、現場受け入れ時に検査簿を提出させた。また、日常点検を実施するよう指導し、点検簿を適宜確認することで実施状況を把握した。	197
			工事運搬車両の主要走行ルートは、沿道に人家の立地が少ない、対象事業実施区域南側の工業地域内を通行するルートとする。	実施	国道24号線から工業地域内を通る運行ルートを選定し、関係車両に周知した	197
			車両が集中することが無いように、適切に運行管理を行う。	未実施	輻輳する工種が少なく、重機の過密配置となるような状況でなかった。	197
振動	振動	最終処分場の設置の工事	建設機械のアイドリングストップを励行するとともに、十分な点検、整備を行い、性能の維持に努める。	実施	新規入場時教育の際、重機や通勤車両等のアイドリングストップを徹底するよう指導し、現場巡視によって実施状況を確認した。	207
			建設機械の稼働時間帯は昼間の8時～17時とし、夜間の環境への負荷を軽減する。	実施	建設機械の稼働時間を8:00～17:00とし、順守状況は現場巡視にて確認した。	207
			工事工程の管理を行い、建設機械が過密に稼働することのないよう努める。	未実施	輻輳する工種が少なく、重機の過密配置となるような状況でなかった。	207
			工事関係車両の運転者には、制限速度を順守させ、無駄な空ふかしやアイドリングを行わないように指導を徹底する	実施	新規入場時教育の際、通勤車両等のアイドリングストップおよび制限速度の遵守を徹底するよう指導した。また資材納入業者にもその旨を通知し、現場巡視によって実施状況を確認した。	211
			工事関連車両の主要走行ルートは、沿道に人家等の立地が少ない、対象事業実施区域南側の工業地域内を通行するルートとする。	実施	国道24号線から工業地域内を通る運行ルートを選定し、関係車両に周知した	211
			車両が集中することが無いように、駅適切に運行管理を行う。	未実施	輻輳する工種が少なく、重機の過密配置となるような状況でなかった。	211
水質	水の濁り	最終処分場の設置の工事	新規埋立地の掘削工事に先立ち、洪水調整池の工事を行い、濁水流出を防止する。	実施	洪水調整池の整備工事に着手した。整備工事は平成30年9月に完了予定	265
			洪水調整池は、定期的に堆積物の浚渫を実施し、有効滞留容量を確保する。	未実施	浚渫を要する状態にはならなかった。	265

重慶最終処分場拡張事業 環境保全措置の実施状況の報告（第1回【平成30年2月15日】） 期間：平成29年11月15日～平成30年2月14日

環境要素		影響要因	実施内容	実施／未実施	備考	評価書記載頁
動物	重要な種及び注目すべき生息地	最終処分場の設置の工事	掘削土仮置部、埋め立て完了位置については、種子吹付や植林により緑化を行う。	未実施	該当工種に未着手	310
			建設機械は、低騒音型建設機械の採用に努める。	実施	騒音対策型建設機械を導入した。	310
			建設機械、工事関連車両は、無駄な空ふかしやアイドリングをおこなわないように指導を徹底するとともに、車両が集中することが無いように、適切に運用管理を行う。また、十分に整備・点検を行うことにより、常に良好な状態で使用し、環境への負荷を軽減する。	実施	その他対策に準じる。	310
			建設機械の稼働時間帯は昼間の8時～17時とし、夜間の環境への負荷を軽減する。	実施	建設機械の稼働時間を8:00～17:00とし、順守状況は現場巡視にて確認した。	310
動物	重要な種及び注目すべき生息地	最終処分場の設置の工事	浸出水処理施設の絵設備機器の性能の維持に努め、異常な騒音を発生することがないように適切に維持管理を行う。	未実施	該当工種に未着手	310
植物	重要な種及び群落	最終処分場の設置の工事	掘削土仮置部、埋め立て完了位置については、種子吹付や植林により緑化を行う。	未実施	該当工種に未着手	332
			緑化には外来種を用いないものとする。	未実施	該当工種に未着手	332
生態系	地域を特徴づける生息地	最終処分場の設置の工事	掘削土仮置部、埋め立て完了位置については、種子吹付や植林により緑化を行う。	未実施	該当工種に未着手	352
			緑化には外来種を用いないものとする。	未実施	該当工種に未着手	352
人と自然との触れ合いの活動	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	最終処分場の設置の工事	快適性の変化については、大気質、騒音、悪臭、景観に係る環境保全措置を実施する。具体的な内容は、「7-1 大気質」、「7-2 騒音」に記載のとおりである。	実施	左記のとおり実施した。	394
廃棄物等	建設工事に伴う副産物	最終処分場の設置の工事	建設工事により発生する発生土は、廃棄物埋立の途中で覆土や抑え盛土の材料として利用する。	未実施	該当工種に未着手	414
			伐採樹木及び建設廃棄物は現在の埋立地で適正に処理する。	実施	左記のとおり実施した。	414